

No.10

弦楽四重奏の新しい地平 ～たった4人のオーケストラ～ モルゴーア・クアルテット（弦楽四重奏）



日本最高峰の弦楽四重奏団“MORGAUA QUARTET（モルゴーア・クアルテット）”。1992年在京オーケストラの主要メンバーによって、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全15曲を演奏するために結成。2023年に演奏活動30周年を迎え、更に勢いを増して進化し続ける唯一無二のクアルテットとして知られています。その枠にとどまらず様々なプログラムで音楽の核心に迫る演奏を行い、中でもプログレッシヴ・ロックを取り入れた迫真の演奏は、各地で話題と熱狂を呼んでいます！



YouTube

～前回公演のお客さまの声～

- ・迫力があってとても感動しました！最高の演奏をありがとうございました！（中学生）
- ・ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロでこんなにも様々な音が表現できるとは感動でした。（40代）
- ・弦楽でロックってどういう感じだろうと思って来ましたが、とてもエネルギッシュで響きも素晴らしく素敵でした！（40代）



モルゴーア・クアルテット コンサート

A

- 第1 ヴァイオリン：荒井英治（元東京フィルハーモニー交響楽団 ソロ・コンサートマスター）
第2 ヴァイオリン：戸澤哲夫（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスター）
ヴィオラ：小野富士（元 NHK 交響楽団次席ヴィオラ奏者）
チェロ：藤森亮一（NHK 交響楽団首席チェロ奏者）

- 【曲目例】 ハイドン：弦楽四重奏曲第39番「鳥」、第67番「ひばり」、第74番「騎士」、第76番「五度」、第77番「皇帝」
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第4番、第11番「セリオソ」 モーツァルト：弦楽四重奏曲第17番「狩」
ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ラヴェル：弦楽四重奏曲
ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」 ボロディン：弦楽四重奏曲第2番
ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第1番～第15番 狭間美帆：キメラ
ヤナーチェク：弦楽四重奏曲第1番「クロイツェル・ソナタ」、第2番「内緒の手紙」
「プログレッシヴ・ロックのレパートリーから」
キング・クリムゾン：21世紀のスキッツォイド・マン、スターレス、レッド、太陽と戦慄 part2
ピンク・フロイド：マナー、原子心母、メドレー
ジェネシス：月影の騎士、ザ・シネマ・ショウ、ウォッチャー・オブ・ザ・スカイズ
EL&P：タルカス、悪の教典#9第1印象、悪の教典#9第3印象、トリロジー、未開人
イエス：危機、同志、シベリアン・カートウル
UK：デンジャー・マナー

開催可能日程

2026年6月6日（土）14:00 開演

*日程は限定されますが、通常1～2ヵ月要する日程調整が不要となり、スムーズに開催決定となります。

交流 プ ラ ン	共演	—	
	鑑賞教室	—	
	子どもミニコンサート	—	
	クリニック	—	
	マスタークラス	—	